

**ビジネス変革に向けた中核的人材育成業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和6年7月31日～令和6年8月1日
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	総務局 DX推進担当部長 総務局 DX推進チーム担当課長 商工労働局 人的資本経営促進課長 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（中小・ベンチャー企業支援担当） 商工労働局 産業人材課長（代理：同課参事）
4	議 題	ビジネス変革に向けた中核的人材育成業務公募型プロポーザルに係る第1次審査（書面審査）について
5	担当部署	総務局 DX推進チーム
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を基に書面審査を行い、得点が上位の3社を第2次審査（プレゼンテーション審査）の対象として選定した。</p> <p>A社：有限責任監査法人トーマツ広島事務所 B社：アポロ株式会社 C社：パーソルワークススイッチコンサルティング株式会社 D社：株式会社エル・ティー・エス</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業の内容が明確に記載されているとともに、効果が期待できる内容となっている。 ・ 全体として安定した提案内容であると評価できる。 ・ 実施遂行能力はあると考える。 ・ 精緻な計画になっており、力作と感じられる。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの実施内容がやや不明確。異業種交流会が食事会になってしまっている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の中核である伴走支援する企業数の記載がないため、事業効果が不明である。また、コンサルティングについて、1人で15社を担当するとの記載があるが、現実的に参加事業者の状況に応じた対応が可能か実効性に疑問がある。 ・ 中核的人材育成プログラムのターゲット参加事業者、広報ターゲットについてよく考えられている。同時に、プログラム参加企業以外にも配慮している点は好印象である。 ・ 独自視点でのターゲットへの効果的な支援の提案がなされていることを評価する。 ・ コンパクトにまとめ、シンプルな計画でわかりやすい一方で、具体性は不明に感じられる。 <p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目指すDXは業種や規模によっても異なるとともに、個社のユニークさにも関係してくると思われるので、すべてデータ=DXとするのはやや短絡的と思われる。 ・ 独自の効果的な支援が提案されており、期待したい。 ・ 書類選考ではわかりにくいですが、今後のプレゼンテーション次第では評価が大きく変わる可能性大。 <p>【D社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ参加企業の発掘方策が口コミとあるが、「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」のネットワークに参加している企業はもともと向上心が強く自ら取り組める企業が多いのではないかと。どのような企業がワークショップに参加するのかペルソナの分析が不十分ではないかと。 ・ 自社独自の取組となることを期待したい。 ・ 広島地域性を意識した内容や具体性を感じにくい。
--	--	---